

# アンカービット取扱説明書

- ◎ アンカービットの性能を最高に発揮させるとともに、災害を防止し安全にご使用いただくために、ご使用前にこの取扱説明書と使用機械の取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しく使用してください。
- ◎ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に大切に保管してください。
- ◎ 取扱いを誤ると事故やけがの恐れがあります。この取扱説明書では取扱いを誤った場合に予想される危険や損害の程度を「**▲警告**」と「**▲注意**」の2段階に分けて表示しています。

「**▲警告**」：誤った取扱いをした時に、使用者が死亡または、重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

「**▲注意**」：誤った取扱いをした時に、使用者が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

## 【1】作業環境・服装・保護具

### ▲ 警告

- ◎ アンカービットが破損した時、飛散した破片があたり、けがをする危険があります。作業場所には関係者以外は近づけないでください。
- ◎ アンカービットは、使用中に火花を発生することがあります。引火や爆発の恐れのある場所では使用しないでください。
- ◎ 被削材に電線管、水道管、ガス管などの埋設物がないことを確認してください。穴あけ作業中誤って接触すると事故につながる恐れがあり危険です。
- ◎ 作業者は防塵メガネ・安全靴・防護帽などの保護具を必ず着用してください。
- ◎ 回転中のアンカービットや機械の回転部に巻き込まれて、けがをする危険があります。きちんとした服装で作業してください。ネクタイ・袖口の開いたもの・編み手袋などは身につけないでください。長髪は、帽子やヘアカバーで覆ってください。

### ▲ 注意

- ◎ 作業者は、防じんマスク・耳せんなどの保護具を着用してください。

## 【2】使用前

### ▲ 警告

- ◎ 使用するアンカービットなどにひび割れ・欠け・変形が無いことを目視や手で確認してください。アンカービットが破損しけがをする危険があります。
- ◎ アンカービットの刃部・シャンク部に異常摩耗が無いことを確かめてください。これらの異常摩耗を発見した場合には、絶対にアンカービットを使用しないでください。
- ◎ アンカービットの最高使用周速度は15m / Sです。最高使用周速度を絶対に越えないでください。
- ◎ 当社指定のアンカードリルに取付けて使用してください。振動機構を備えた機械には使用しないでください。

### ▲ 注意

- ◎ アンカービットの形状を変えるような加工はしないでください。

## 【3】取付け

### ▲ 警告

- ◎ アンカービットを取付ける時は、必ず機械の動力源のスイッチを切ってください。不意に機械が起動し、けがをする危険があります。
- ◎ アンカービットを取付ける機械のメインシャフトは、ガタや振れの無いものをご使用ください。メインシャフトの振れが大きいと、アンカービットが破損しけがをする危険があります。
- ◎ 機械のメインシャフトへの取付けは、確실히行ってください。

### ▲ 注意

- ◎ アンカービットご使用の際は、ネジ部にゴミの付着がないことを確認のうえ、必ずグリース等の潤滑剤を塗ってください。

## 【4】使用中

### ⚠ 警告

- ◎ 回転中のアンカービットには絶対に手や身体で触れないでください。けがをする危険があります。
- ◎ アンカービットで鉄筋を切削しないでください。鉄筋を切削すると切れ味が悪くなったり、チップの異常摩耗やシャンク部の破損の恐れがあります。
- ◎ 急激なこじり・たたき・大きな衝撃などを与えないでください。アンカービット刃部の破損やシャンクが変形し危険です。
- ◎ アンカービットを落としたり、ぶつけたりしないでください。アンカービットの振れの原因となり、機械・アンカービットが破損することがあります。
- ◎ 加工する被削材をしっかりと固定してください。作業が不安定になったり、被削材が動いたり、欠けて飛んで、けがをする危険があります。
- ◎ 作業中に異常な音・振動が発生した時には、直ちに作業を中止してください。異常な音・振動がある状態で使用を続けると、アンカービットが破損して、けがをする危険があります。

### ⚠ 注意

- ◎ 無負荷回転させて異常がなければ、刃先をゆっくりと被削材にあて、5～10mmの深さまでは軽く切込んでください。急激に切込むと、刃先が振れてアンカービットの刃部が破損し、けがをする危険があります。
- ◎ 乾式用を除き、作業中は必ず十分な注水を行ってください。注水が不十分な場合には、刃先の異常過熱・破損・切れ味不良の原因となります。
- ◎ 穴あけ途中では絶対に機械の回転を止めないでください。回転を止める時には、アンカービットを穴から静かに抜いてから回転を止めてください。押し付けた状態で回転を止めると、刃先が被削材にかみ込み、アンカービットが抜けなくなったり、アンカービットの刃部が破損することがあります。
- ◎ 切れ味が悪くなった時は、目立て（ドレッシング）をしてください。そのまま使用すると異常過熱となり、アンカービットが破損し、けがをする危険があります。  
「目立てのやり方」  
粗めの砥石または軟質被削材（コンクリートブロック・レンガ・砂岩）に穴あけをしてください。シャンク内に被削材のコアが詰まった場合には、アンカービットを変形させないように取り除いてください。

## 【5】使用后

### ⚠ 警告

- ◎ アンカービットを取りはずす時は、必ず機械の動力源のスイッチを切ってください。不意に機械が起動しけがをする危険があります。

### ⚠ 注意

- ◎ 使用直後のアンカービットは、高温になっている場合がありますので、直接手などで触れないでください。

## 【6】保管・取扱い

### ⚠ 注意

- ◎ アンカービットにひび割れ・欠け・変形がないことを目視や手で確認してください。
- ◎ アンカービットを取りはずして保管する場合は、落下や衝撃が加わる恐れのない場所に整頓して保管してください。

なお、ご使用に際しましてご不明の点、お気づきの点などありましたら、最寄の「販売店またはコンセック各営業所」にお問い合わせください。

問合せ先：〒733-0833 広島市西区商工センター4-6-8  
TEL (082) 277-5451 FAX (082) 278-6389